

活動分野	森林環境教育		
タイトル	森の恵みを感じよう		
実施日時	平成28年11月16日(水) 10時~12時		
実施場所	君津市 小櫃小学校と隣接する学校林		
受講者	小学3年生28名(学校側3人 教育委員会3人)	FIC会員他スタッフ	3名

活動の内容

今年度最後の森林環境教育を小櫃小学校で実施しました。

学校内にも珍しい樹木が多くあり、また隣接して学校林もあるという森林環境教育には非常に恵まれたところです。

① [森のビンゴ]を楽しみながら木々の紅葉、黄葉を観察しました。またいろいろの木の実も観察できました。

美しく黄色くなったイチョウの観賞からスタートし、途中クヌギ、コナラ、アラカシのドングリ拾いをしました。林内ではフユイチゴがたくさんあり子供たちは赤い実を見つけるとわれ先にダッシュしあっという間に2~3個食べました。校内にはケンポナシの実が落下しており、これにも挑戦しました。おいしいという子供、顔をしかめる子供、いろいろです。

都会の学校ではみられない光景でした。チャノキに実があり、これから習う地図記号の茶畑がこの実のつき方に由来していることを教室より先に学習しました。先生方も[なるほど]と納得の様子でした。

② 外が少し寒かったので[森のランチ]は教室でつくりました。自分で拾ってきたもの、インストラクターが用意したもので全員個性のある色のバランスの良いランチができました。

添え物にイチョウの葉でピカチュウ、キツネ、アオキの葉でビーチサンダルも作りました。最後に全員が一列になりお友達の作品を見てまわり観賞しあいました。

深まっていく秋の自然を大いに楽しんだ一日でした。



[森のランチ]作成風景



豪華なランチができました



個性的なランチばかりです